

LITTLE
MAGIC

FILMS · CONTENT · ENTERTAINMENT

(株) リトル・マジック・フィルムズ

Little Magic Films, Inc.

6500 Moore Drive, Los Angeles, CA 90048

Tel/Fax: +1.323.424.4822 Email: kiki@littlemagicfilms.com

キキ三宅 プロフィール

映画プロデューサー。兵庫県出身。幼少期から高校卒業までをシンガポールで過ごす。上智大学国際学部哲学科卒業。

アメリカ・ヨーロッパ・アジアのかけ橋としての役割を担う独立系映画会社Little Magic Filmsの創設者兼社長。海外共同製作作品の企画開発・交渉に従事。

代表作は、製作総指揮を務めた2014年アカデミー賞ドキュメンタリー長編賞ノミネート、2015年エミー賞ニュース&ドキュメンタリー部門、ベストドキュメンタリー賞受賞作品『キューティー&ボクサー』。愛、犠牲、創造的な精神を映し出す本作品は、ニューヨーク在住のボクシング・ペインティングで知られる現代芸術家・篠原有司男とその妻・篠原乃り子の40年にわたる波瀾万丈の結婚生活を描き、大きな話題を呼んだ。2013年サンダンス映画祭でのドキュメンタリー部門監督賞受賞を皮切りに、世界各国の映画祭で高評価を得、アカデミー賞作品の実績豊富なワインスタイン・カンパニーが全米配給を手がけた。

最新作は、やはりワインスタイン・カンパニー系列で2014年に全米配給された「13 SINS」。タイ映画『レベル・サーティーン』のリメイクで、13の究極の試練をクリアする異様なゲームに参加した青年の末路を殺伐としたタッチで描いた作品。

その他のプロデュース作品は、報道写真家集団マグナム・フォトの18人の写真家たちが時事問題を動く映像で捉えたTVドキュメンタリーシリーズ『THE MAGNAM EYE マグナム最前線を撮る』(1992)、マドンナの“レイ・オブ・ライト”で高い評価を受けるヨナス・アカーランドの記念すべき劇場監督デビュー作『SPUN スパン』(2002)、

ローリング・ストーンズをはじめ数々のミュージック・ビデオで高い評価を受けるPV界の巨匠ジュリアン・テンプル監督の『ヴィゴ』(1998)、トーキング・ヘッズのデヴィッド・バーン監督の『イレ・アイエ(生命の家)』(1989)など。

以前は映画バイヤーとして日本の配給会社アミューズピクチャーズ(後の東芝エンタテインメント/現ショウゲート)で配給権取得業務に携わり、50作品以上の権利取得に成功。代表的な買付作品は、アカデミー賞監督賞とカンヌ映画祭パルムドール賞をダブル受賞し、興収30億円を記録した『戦場のピアニスト』。『パルプ・フィクション』『バイオハザード』『メメント』『ネバーランド』『ONCE ダブリンの街角で』など、商業大作からアート作品まで、多岐に渡る良質な作品群を獲得した。又、映画以外にも、1990年代に海外ドラマの草分けとして社会現象を巻き起こした『ツイン・ピークス』の買付も手がけた。

大学在学中は、TBSの海外取材番組『モーニング・ジャンボ』のレポーター、FM東京のDJ、洋楽アルバムの訳詞、海外アーティストの通訳などを手がける。卒業後、海外取材番組のレポーター、コーディネーター、FM東京の番組制作を務める。

1970年代にニューヨークに拠点を移し、ミュージシャン・ユニオンに所属し、音楽業界で活躍。渡辺貞夫や日野皓正の米国での録音に際し、レコーディング・コントラクターを務めた。ジャズ界では空前の大ヒット作となり、フュージョン・サウンドをポピュラー音楽として広めることになった渡辺貞夫のアルバム『カリフォルニア・シャワー』の制作にも貢献。数多くの日本人ミュージシャンの全米ツアーや、海外アーティストの来日コンサートツアーのブッキングを行う。中には、当時“歴史的な邂逅”と言われたV.S.O.P.クインテット他による、日本最大のジャズ・フェスティバル『ライブ・アンダー・ザ・スカイ』がある。

アルファ・レコード社アメリカ代表も務め、所属する日本人アーティストの米国に於けるアルバム制作および全米ツアーのマネージメントを多数手がけた。YMOの米国におけるプロモーション/マーケティング・ディレクターとして彼等の成功に大きく貢献。

又、FM東京のラジオ番組シリーズ『ライブ・フロム・ザ・ボトムライン』を企画制作。3年半に渡り、ポリスを含め、当時日本では無名だったミュージシャンを数多く紹介し、多大な反響を得た。伝説的なアポロ劇場から送るラジオ番組『ライブ・フロム・ザ・アポロ』も手がけた。

1980年代にはMTVを通じて音楽から映像分野へ進出。数多くのミュージック・ビデオや、世界初の日米同時衛星中継ライブコンサート番組、ローリング・ストーンズ/スティング/坂本龍一等のTVドキュメンタリーをプロデュース。ジュリアン・テンブル、ラッセル・マルケイをはじめ、のちに劇映画で活躍する監督の作品を手掛ける。又、アイランド、ヴァージン、クリサレス等の米英インディーズ系レコード会社のミュージックビデオの配給を担当。

1990年代から本格的に映画プロデュース業へ参入、現在に至る。

<主な映像プロデュース作品>

- ・『キューティー&ボクサー』(2014) - エグゼクティブ・プロデューサー
[劇場配給：ザジフィルムズ]
ザッカーリー・ハインザーリング監督作品。2013年12月渋谷シネマライズほか全国公開。
2015年エミー賞ニュース&ドキュメンタリー部門、ベストドキュメンタリー受賞
2014年アカデミー賞ドキュメンタリー部門ノミネート
2013年トライベッカ映画祭観客賞 第2位
2013年サンダンス映画祭ドキュメンタリー部門監督賞受賞
- ・「13 SINS」(2014) - プロデューサー
ダニエル・スタム監督（『ラスト・エクソシズム』）による心理スリラー。
日本公開。
- ・『SPUN スパン』(2002) - エグゼクティブ・プロデューサー[劇場配給:東芝エンタテインメント]
PV界の寵児ジョナス・アカーランドの記念すべき劇場監督デビュー作。麻薬密造人の運転手をするハメになったジャンキー青年の不眠不休の3日間を描いた青春ロード・ムービー。主演は『天才マックスの世界』から『グランド・ブダベスト・ホテル』まで、ウェス・アンダーソン作品には欠かせない個性派俳優ジェイソン・シュワルツマン。共演に『8mile』のブリタニー・マーフィ。伝説のドラッグ密造人役でミッキー・ロークも怪演。
- ・『ヴィゴ』(1998) - エグゼクティブ・プロデューサー [劇場配給:アミューズピクチャーズ]
ジュリアン・テンブル監督作品。トリュフォー、ゴダールをはじめ多くの映像作家

に影響を与えた天逝の映画監督ジャン・ヴィゴ（1905～34）と彼を支えた女性の秘められた愛を描いたラブ・ストーリー。英Channel 4 Filmsとの共同製作、日英仏合作。

伊ヴェローナ映画祭審査員大賞、最優秀主演女優賞ダブル受賞。

『バイオハザード』シリーズの監督・製作コンビで知られるポール・W・S・アンダーソンと盟友ジェレミー・ボルト率いるImpact Picturesとのコラボレート。

- ・ 『THE MAGNAM EYE マグナム最前線を撮る』 (1992)[テレビ東京] - プロデューサー/企画/制作
世界最大の報道写真家集団マグナム・フォトと組んだTVドキュメンタリーシリーズ。TIME 誌やLIFE 誌の表紙を飾ってきた著名なフォトジャーナリスト達がハンディカムを手し、世界の現実を映像で捉えた。18本の最新の時事問題をテーマに、ビデオ・ジャーナリズムを世界に知らしめた衝撃作。1993年ニューヨーク映画祭、フィラデルフィア映画祭等、数々の映画祭の招待作品として話題を呼んだ。
- ・ 「KEITH RICHARDS TV SPECIAL」 - プロデューサー/企画/制作
ローリング・ストーンズのギターリスト、キース・リチャーズのスペシャル番組。
- ・ 「三文オペラ」 - プロデューサー
スティングのブロードウェイ・ミュージカル初主演作品。
- ・ 『イレ・アイエ（生命の家）』 (1989)
[Channel 4/KTCA/Pioneer LDC] - プロデューサー/企画/制作
トーキング・ヘッズのデヴィッド・バーン監督がブラジルのバイーアで撮影した音楽ドキュメンタリー。
- ・ 『TOKYO MELODY』 (1985) [フランス国営放送局] - アソシエイト・プロデューサー
坂本龍一のドキュメンタリー番組。
- ・ 『ASIA IN ASIA』 (1983) [MTV] - スーパーバイズプロデューサー
世界初の日米同時衛星中継ライブコンサート番組。